

人権理事会 アフリカ系の人々の状況、ウィーン宣言を討議

2022/10/03

国連人権高等弁務官事務所

人権理事会では、アフリカ系の人々に関する専門家作業部会議長が発言し、アフリカ系の人々に対する法執行官による過剰な力の行使と殺害が多くの国で不処罰のまま続いている事態に対し、各国政府はアフリカ系の人々が法執行等の当局から受ける多重で相互関連する複合差別を考慮すべきであると述べた。また、作業部会の年次報告書はアフリカ系の子どもに重点を置き、世界中の彼らの人権状況を論じていると説明した。討議では、人権侵害の認識、歴史の評価、寛容の促進が包摂的でバランスのとれた社会の建設に不可欠であること、アフリカ系の子どもが頻繁に法執行官による制度的人種主義の犠牲になるのは人種的プロファイリングのせいであること等を主張した。続いて行われたウィーン宣言・行動計画に関する討議で発言者は、ウィーン宣言・行動計画は全ての人権の促進・保護の役割を果たすという国連加盟国の約束の表れであること等に言及した。